

令和
6年

vol.26 2024Nov

住宅防火 だより

守りたい 未来があるから 火の用心 (2024年度全国統一防火標語)

- 住宅用火災警報器は10年を目安に交換しましょう
- リチウムイオン蓄電池からの出火が増えています
- いのちを守る10のポイント



住宅防火 いのちを守る10のポイント

4つの習慣

- 寝たばこは絶対にしない、させない
- ストーブの周りに燃えやすいものを置かない
- こんろを使うときは火のそばを離れない
- コンセントはほごりを清掃し、不必要的プラグは抜く

6つの対策

- 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する
- 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する
- 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防炎品を使用する
- 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく
- お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく
- 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う

※「住宅防火いのちを守る10のポイント」消防庁
(<https://www.fdma.go.jp/relocation/html/life/jukei.html>)を加工し作成

10

年を目安に取り替えを！命を守る住宅用火災警報器

家庭内の火災の発生をいち早くキャッチして、警報音や音声で知らせてくれる住宅用火災警報器。

古くなると電池切れなどで火災を感知できなくなることがあります。とても危険です。

交換時期の目安は約10年。

お家の住宅用火災警報器をチェックして、適切に交換しましょう。

逃げ遅れの防止に大きな効果があります！必ず設置しましょう



1. 設置時期を確認するには？

住宅用火災警報器を設置した時に記入した「設置年月」、または、本体に記載されている「製造年」を確認してください。

10年経っていない場合も、定期的な作動確認が必要です。

2. きちんと作動するか確認しよう！

ボタンを押す、またはひもを引いて作動確認します。

○ 正常な場合は？

正常をお知らせするメッセージまたは火災警報音が鳴ります。

ピーピーピー
火事です

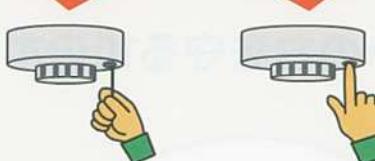


※警報音はメーカーによって異なります。

× 音が鳴らない場合は？

電池がきちんとセットされているかご確認ください。

しーん



それでも鳴らない場合は、「電池切れ」か「故障」が考えられます。取扱説明書をご覧ください。

購入方法

お近くのホームセンターや家電量販店、消防設備取扱店などで購入できます。

問合わせ

最寄りの消防署または住宅用火災警報器相談室まで
TEL 0120-565-911
月曜日から金曜日までの9時～17時
(12時～13時を除く)

リチウムイオン蓄電池からの出火が増えています

リチウムイオン蓄電池による電気火災を防ぐための主な対策

事例

- 落下・浸水したモバイルバッテリーを使用していたところ火災となった
- モバイルバッテリーが暖房器具の温風により加熱されたことで火災となった

リチウムイオン蓄電池に係る対策

- 破損・膨張などの異常のある場合は使用しない
- リチウムイオン蓄電池は熱くなる場所に放置しない

その他的一般的な対策

- むやみに家電製品を分解・修理・改造しない
- 耐用年数を超えた製品は使用しない

製品の取扱い説明書の指示に従い、正しく使用・管理することが重要です

廃棄物処理施設等(廃棄物処理施設・ゴミ収集車)における充電式電池による火災を防ぐための主な対策

事例

- 不燃ごみとして廃棄された「モバイルバッテリー等(電子たばこなどを含む)」や「コードレス掃除機」、「ノートパソコン」、「電動アシスト自転車」等に含まれる充電式電池が廃棄物処理施設内で圧縮され、破損したため火災となった

対策

- 地域の分別ルールに従って廃棄する

リチウムイオン蓄電池等の充電式電池を含む家電製品等を廃棄する場合は、地域の分別ルールに従って廃棄することが重要です

※消防庁「住宅における電気火災に係る防火安全対策検討会報告書」より抜粋

住宅火災を防ごう！いのちを守る 10 のポイント

令和5年に鹿児島で発生した火災は676件。
その内の約24%にあたる159件は住宅火災でした。

次ページの日頃から取り組むべき「いのちを守る10のポイント」をチェックして、住宅火災を防ぎましょう。

※令和5年中の鹿児島県の火災件数は概数です

住宅火災の主な原因 (鹿児島・令和5年中)

- 1 こんろ
- 2 たばこ
- 3 電灯電話等の配線